

オタクの夢を叶えた先輩社員に憧れて選考希望部署率が 80% 入社 2 年目の社員から始まった「クールジャパン事業部」が企業戦略の中心に

オタクの聖地化しているアニソンカフェ、世界一のアワードを受賞したラグジュアリーSPA、外国人に人気の和風カプセルホテルなど様々なクールジャパンエンタテインメントを展開する株式会社シティコミュニケーションズ（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：三田大明）は、訪日外国人の増加を睨んで 4 年前に設立した『クールジャパン事業部』が就職活動中の学生から人気を集め、今では弊社 8 事業部の中で選考希望部署の 80%を占めています。

その理由としては、若者のアニメ人気もさることながら、「クールジャパン事業部」の立ち上げに関わった人物が当時入社 2 年目の若手社員だということです。当社人事部による分析では、就活生の多くは「その会社に入って、自己実現ができるか」を基準に就職先を選ぶ傾向にあり、アニメ・声優好きという趣味を活かし自己実現を叶えた若手社員が実際にいることが 80%という数字につながっています。



入社 2 年目の社員がオタクの趣味を最大限に活かして開業したアニソンカフェ「すた〜ず」

当社では現在、“クールジャパンで世界一”を掲げており、このミッションを達成するための戦略として、2015 年に「クールジャパン事業部」の前進となる「サブカルチャー事業部」を立ち上げ、同年に事業部の一号店舗としてアニソンカフェ「すた〜ず」をオープン。その後「クールジャパン事業部」と名前を変え、カプセルホテル、シューティングバー、焼き鳥屋など、独自のエンタテインメント性を加えた他にはない Cool Japan コンテンツを展開しています。

今や当社の中心事業となりつつある「クールジャパン事業部」ですが、最初の「すた〜ず」の実質的な立ち上げを担ったのは 2013 年入社で当時 2 年目だった 2 人。2 人ともアニメや声優が大好きな、いわゆるオタクを自認しています。オープンにあたっては、物件調査、経費算出、利益計画、保健所への申請、スタッフの募集など行政への手続きから社内プレゼン、雑務まで全てをこなさなければなりません。当然ながら、入社 2 年目ではそれらの知識も経験も持ち合わせていません。しかし当社代表である三田は、「社員を信じてやらせてみる」をモットーにしており、入社 2 年目の社員に新規事業の立ち上げという大仕事を任せることにしました。「すた〜ず」一号店の責任者となった澤田は失敗の連続で挫折しそうになりながらも、本社に足を運んでは諸先輩を捕まえて様々な話を聞き、周囲の協力を得ながら無事にオープンまで漕ぎつきました。開店後は予想以上の売上をたたき出し、その年の会社 M V P を獲得。その後も 3 年で 5 店舗というスピードでアニソンカフェ「すた〜ず」をオープンさせ、軌道にのせています。

<プロフィール>



右：澤田健人（さわだ けんと）

2013年4月入社。高校の野球部を引退後、アニメと声優にハマる。大学時代、パチンコ・スロット・麻雀にあけくれている頃に当社が運営するパチンコ・スロット店のスタッフがいつも楽しそうに働いている様子を見て、就職先として希望。大学卒業と同時に入社し、パーラー事業部に配属された後、アニメ好きを活かした“萌え台コーナー”企画を発案するなど、店舗を盛り上げリーダーに昇進。2016年、新規事業の責任者として立候補し、アニソカフェ「すた〜ず」を立ち上げる。現在、クールジャパン事業部 すた〜ず プレイングマネージャー。

左：千倉裕（ちくら ひろし）

2013年4月入社。小中高は陸上部で活躍。大学生の時アルバイトで接客業の楽しさに目覚める。学生時代、パチンコイベントで偶然澤田と出会い、お互いにアニメ好きということもあり意気投合。就職活動の時期、先に当社への就職が決まっていた澤田からの誘いもあり、就職先として選ぶ。入社と同時にパーラー事業部に配属。当社の新規事業立ち上げにともない、澤田が責任者として立候補したことを受け、サポート役として合流。現在、クールジャパン事業部 すた〜ず 統括店長。

【クールジャパン事業部 概要】

▼アニソカフェ「すた〜ず」

横浜に2店舗、秋葉原・蒲田・立川に各1店舗の計5店舗を展開。アニメソング、声優ソング、ボーカロイド、ゲームソング、特撮系、パチンコ・パチスロの曲などアニメ・サブカルチャー系の曲に限定したカラオケカフェ・バーです。“アニソ”という共通項を持ったお客同士が一体感を持って盛り上げられる雰囲気の特徴で、スタッフはアニメキャラクターのコスプレをして盛り上げています。



▼シューティングバー「GET@City」

お酒を飲みながら、本格的なシューティング（エアガンでの射撃）が楽しめる、横浜初のシューティングバー。エアガンメニューには、アニメ等に使われたモデルを多数揃えており、そのエアガンがどのような作品に登場したか等も細かく記載しています。また、店内やシューティングレンジをコスプレ撮影用に開放するスタジオとしても利用可能です。



▼カプセルホテル「ビジネスイン ニューシティー」

アニメのキャラクターを全面に打ち出した“痛カプ”や、忍者・武将・花魁等をテーマにしたカプセルフロア“クールジャパンフロア”は外国人の宿泊客に大人気。他にも国内寝具大手の西川産業株式会社と共同開発したマットレスを使用した“プレミアム快眠カプセル”、個室タイプでパソコンも利用できる“ビジネスプライベートルーム”など、様々なコンセプトのカプセルルームが150室あります。



▼大衆焼き鳥酒場「楚々屋（そそや）」

こだわりの鳥に、唼酒礎（きざぎけし）が厳選した日本酒を、低価格で楽しんでいただける1階が立ち飲み、2階が座敷の焼き鳥酒場。インバウンド対応を重視し英語表記のメニューを用意するなど、海外からのお客様が利用しやすい店舗づくりに力を入れ、“粋(いき)で鯨背(いなせ)なサービス”をモットーに営業しています。



英語の説明動画で外国人も安心して“Cool Japan”を楽しむ

アニソンカフェ「すた〜ず」、シューティングバー「GET@City」では、店舗のシステムや利用方法について英語で説明した動画をオリジナルで作成して公開しています。これは、独自の Cool Japan エンタテインメントを、日本語が苦手な外国人にも、ルールを守って楽しんでもらうための取り組みです。

アニソンカフェ「すた〜ず」 <https://www.youtube.com/watch?v=GFvPV8os-cY>

シューティングバー「GET@City」 <https://www.youtube.com/watch?v=xKqzdbXintQ>

【会社概要】



社名： 株式会社シティコミュニケーションズ

代表： 代表取締役社長 三田大明（みた ひろあき）

本社所在地： 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町 3-33-8 アサビル3F

URL： <http://www.city-s.co.jp/>

設立年： 1995年12月

資本金： 2億2325万円（グループ計）

従業員数： 1,070名（アルバイト含む/2018年3月末）

事業内容： ・アニソンカラオケカフェ、シューティングバー等サブカルチャー事業の企画、運営
・カプセルホテルの企画、運営
・スパ、エステ事業の企画、運営
・インターネットカフェ、マンガ喫茶の企画、運営
・フレンチレストラン、居酒屋の企画、運営
・パチンコ、スロット店の企画、運営
・広告、WEB、デザインの企画、制作、スマートフォンアプリ開発

<報道関係者からのお問い合わせ先>

シティコミュニケーションズ 広報事務局

担当：小林（080-3498-2239）

TEL：03-5411-0066 FAX：03-3401-7788

E-mail：pr@netamoto.co.jp

シティコミュニケーションズ 広報室

担当：坂本（090-8347-9731）

TEL：045-290-1765 FAX:045-290-1744

E-mail:s.sakamoto@city-s.co.jp